

会員寄稿

平成22年度 こうよう会 久喜キャンパス見学会 ～久喜キャンパスでの初の本部行事をふりかえって～

こうよう会本部 監査役
大山 泰

2010年11月7日（日）東京理科大学経営学部のある久喜キャンパスで、久喜キャンパスでの開催は初めてとなる、こうよう会本部行事が行われた。

そろそろ晩秋の頃だが、大変暖かく穏やかな晴天のもと、前日11月6日（土）からにぎやかに繰り広げられている経営学部の文化祭「理大祭 in 久喜」と合わせ、また、経営学部主催の教員の方々と保護者の“個別相談会”と合わせて、キャンパス見学会が行われた。

午後からの、こうよう会としての本部行事は、当初の申し込み数を上回る206名の参加者数となる大盛況で、H棟の101教室は瞬間に満杯。全国から駆けつけた、こうよう会会員の方々の熱気でいっぱいだった。



理大祭の見学



講演を待つ参加者

見学会はまず、10月に経営学部長に就任された東邦仁虎先生から、経営学部の概況についての説明から始まった。東邦学部長からは、1993年の経営学部開設以来、他大学の経営学部や商学部（学部としては同系統に分類されることが多い）などとは異なり、本学は数学が必修で、数量的、実証的なアプローチの研究を特色とするユニークな「経営学部」であることがすっかり浸透していること、経営学をめぐる現下の情勢は、学問だけでなく、ビジネスの



東邦仁虎先生の説明

世界もグローバル化とICT（情報通信技術）とは切っても切れない状況となっており、そうした時代と世界の趨勢を踏まえた、デジタル時代、グローバル時代の次世代のマネジメント・フロンティアを担う学部、次世代のリーダーを育成する役目を経営学部としてめざしていきたい、との抱負が熱く語られ、多くのこうよう会員が耳を傾けていた。

続いて、経営学部の就職幹事を務められている藤川裕晃先生から、東京理科大学全体、そして、経営学部生の最近の就職状況をご説明いただいた。2008年のリーマン・ショック以降、学生の就職状況は厳しさを増しており、そうした状況に対応すべく、東京理科大学では企業関係者を招いたさまざまなイベント等を開いて学生の企業へのアプローチによりよい環境をつくり、また、学生の就職活動に関して大学側ではさまざまな積極的な取り組みをしていることなど、詳細に説明をされた。



藤川 裕晃 先生から説明を受ける参加者たち



その後、企業の内々定を受けて就職活動を終えた、経営学部の4年生3名の学生から就職活動体験談が披露され、シンクタンク、銀行、メーカーと、企業から内定通知を受けて内定が正式に決まるまでの間の、それぞれ自らの大学生活で考えていたこと、取り組んでいたこと、そして、エントリーから始まって、面接での様子、就職活動中での親御さんとの関係など、さわやかに、時にユーモラスにさまざまなエピソードを語ってくれた。実際の体験談が聞けて、多くの参加者のこうよう会会員も、子

どもの近い将来の就職活動に関して、大変参考になったという声も多く聞かれた。



学生の就職活動体験談に真剣に耳を傾ける参加者たち

この学生の就職活動体験談で共通していたことは、皆さん、面接などの際は背伸びをせずに、素直に自分を飾らず率直に表現していた、ということが印象的で、その様子は学生3名のそれぞれの爽やかな人柄から、企業担当者もきっと、「ほしい人材」として評価されたであろうことが大変よく伝わってきたと同時に、そういう学生さんを育んだ東京理科大学経営学部の素晴らしさを示したものでなかったか、と思った。

久喜キャンパスでの行事は、この後、東邦学部長はじめ多くの経営学部の先生方との懇親会が行われ、軽食をともにしながら、小1時間、じっくりと経営学部や久喜の学生の様子、就職活動の様子など、いろいろな意見交換とさまざまな話題に花が咲き、こうよう会の参加者の多くが大変熱心に先生方と歓談し、充実したものになった。経営学部の先生方の熱心で、また、時代の変化をつかんで学生を育て、研究を発展させていこうとする熱意にあふれたものだった。

僭越ながら、私も東邦先生と話をさせていただき、東京理科大学経営学部が今後、社会や企業、そして、学問の世界から、「東京理科大学の経営学部じゃないと困る」「東京理科大学の経営学部がないと困る」と言われる、ユニークで唯一無二の、存在感が際立つ学部として、さらに充実、発展していくことを父母組織である

「こうよう会」も願っていて、また、微力ながら父母組織も大学とともに一層の発展に寄与、貢献できればいいと考える、と意見交換させていただいた。

今回の久喜キャンパスの本部行事には、こうよう会の中村副会長をはじめとする、こうよう会東海地域の方々が多く、観光バスで前日からの野田キャンパス見学を終えて駆けつけて参加され、行事が一層盛り上がった。

最後に、今回の本部行事の充実と盛会は、日頃、こうよう会のさまざまな活動の進め方やあり方に腐心され、ほとんどの土・日曜日を使ってすべての行事に足を運んでお骨折りいただいている船木会長、今回の久喜の本部行事の中心的な準備をされた勝田副会長をはじめとする本部役員の方々、さらに、当日きめ細かい気配りで運営をスムーズに遂行された埼玉県支部の役員の方々の努力なしにはありえなかったものである。本部常勤役員で監査役の小生のお役目は、素晴らしかったこの久喜キャンパスで初めてのこうよう会本部行事の様子を多くの方にお伝えするこの文章を書くことだが、小生の文章力の拙さもあり、この文章では行事の充実ぶりを十二分にお伝えしきれない嫌いがあり、ご容赦いただければと思う。

そして、最後の最後に、日頃、こうよう会の多くの行事とそれに伴う大量の作業を、事実上の土日返上の形で大学側から大変細かく、丁寧にサポートしていただいている、東京理科大学校友・父母支援室の方々に深くお礼を申し上げて、この寄稿を終えようと思う。深謝。



懇親会